

ご使用前に必ずお読み下さい。

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧下さい。

T-727 取扱説明書

- 製品仕様**
- 時間精度：平均月差±30秒以内(常温での使用時)
(電波時計による時刻修正を行わない場合)
- 表示精度：±1秒以内(電波受信による時刻修正の直後)
- 使用温度範囲：0～+40℃
- 時刻表示：12時間制表示、24時間制表示
- 使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池(LR6 1.5V)2個(電池別売)
- 電池寿命：約10ヶ月
(単3形アルカリ乾電池2個を使用し、1日にアラームを30秒、ライトを1回使用した場合)
- 受信電波：標準電波JJY、周波数：40kHz/60kHz(自動選局)
- 自動受信回数：電池セット後24時間以内：受信に成功するまで最多7回
電池セット後24時間以降：最多3回/1日
- カレンダー：2000年1月1日～2099年12月31日(フルオート)
- 表示温度範囲：0～+50℃
※0℃より低いとLL、L、50℃より高いとHH、Hを表示
- 表示湿度範囲：20～95%RH(%RHは相対湿度の単位です)
※20%RHより低いとLL、95%RHより高いとHHを表示
- 温度計精度：±1.5℃(0～+50℃の範囲)
- 湿度計精度：±7%RH(常温時、20～95%RHの範囲)
- エアーサーチ機能(環境表示)
- アラーム：電子音(1分間オートストップ)
- スヌーズ機能(無制限繰り返し可能)
- スヌーズ間隔任意設定(5～60分)
- ライト機能(バックライト)：残照機能(約4秒間)

T727-1707

保証書

GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。

尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

型番	T-727
保証期間	この保証書は、複製のため、ご利用できません。
お買上げ日	
販売店	

販売店名、同印、お買上げ日の記入の無いものは無効です。本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。本保証書は日本国内のみ有効です。
(This guarantee is valid only in Japan.)

発売元 ノア精密株式会社
本社：〒111-0042 東京都台東区寿 1-6-7 ユーハイツ伸光3階

▲注意と警告 安全にご使用いただくために

下記の注意事項を必ず守って下さい。

- 禁止** ●分解・改造をしないで下さい。
- ▲**注意** ▲警告 ●強いショックを与えないで下さい。●次のような場所での使用、保管はしないで下さい。◆温度が0℃以下、または+40℃以上になる場所◆浴室など、湿気が多い場所◆直射日光などの強い紫外線が当たる場所◆強い磁気のある場所◆振動の激しい場所、不安定な場所◆工場、台所など、油分の多く発生する場所◆温泉場など、ガスの発生する場所◆温風機などの乾燥した風が当たる場所◆塵や埃の多い場所◆ゴムやビニール系素材に長い間直接接触させておくと、色移りや付着・変質をする場合があります。●梱包用袋は絶対にかぶらないで下さい。

お手入れについて

- プラスチックをふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラぶきして下さい。
- ベンジン、アルコールなどの溶剤、ミガキ粉、ブラシは使わないで下さい。変色、変形の恐れがあります。

●本取扱説明書の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対してはなんら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

電池について

- 禁止** ●ショート・分解・加熱・火に入れるなどしないで下さい。●+と-を逆にしないで下さい。●電池に直接ハンダ付けしないで下さい。
- ▲**注意** ▲警告 ●寿命の切れた電池はすぐに電池ホルダからはずして下さい。●長期間機器を使用しない場合は、機器から電池をはずして下さい。●電池が液漏れした場合は、液に触れないで下さい。●電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、ケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。目に入ったときは、失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けて下さい。●電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、医師に相談して下さい。●2個以上の電池を使用する場合は、違う種類の電池(アルカリとマンガン等)や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないで下さい。発熱の恐れがあります。●電池着脱の際は、指先等をケガしないよう注意して下さい。●電池を廃棄、または保存する場合は、テープなどで絶縁して下さい。他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。●廃棄の際は、各自自治体の指示に従って下さい。●充電式電池・リチウム乾電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きな場合があります。●アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般にアルカリ乾電池の方が長持ちします。●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は併用しないで下さい。●買い置きした電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の交換について

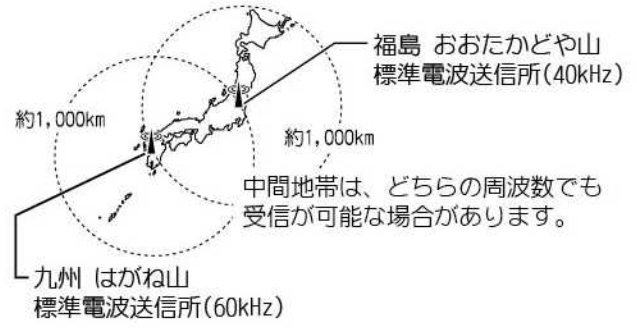
電池容量が不足してくると、液晶表示が薄くなったり、アラーム音が小さくなったり、歪んだりします。このような場合は、速やかに同じ種類の新しい乾電池に2個同時に交換して下さい。

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。電波を受信できない場合は、内蔵クォーツ精度で計時をします。

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、情報通信研究機構によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。
- 情報通信研究機構 ホームページアドレス <http://jijy.nict.go.jp>

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示面には触れないで下さい。表示が見えにくくなる場合があります。しばらくすると、元に戻ります。
- 0～+40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。

温度湿度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、温度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、注意して下さい。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外には受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場所の条件によっては、日本の標準電波を受信したり、ノイズによって誤った時刻を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

使用場所について

- 電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。以下のような条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用して下さい。
- ◆鉄筋、鉄骨の建物の中や地下(ただし、窓際は比較的受信しやすいです)
 - ◆山、ビルなどの電波をさえぎるものの近く
 - ◆高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
 - ◆自動車、電車、飛行機などの中(特に移動中は電波障害が起きやすくなります)
 - ◆空港、交通量の多い道路の近く工事現場など電波障害の起きる場所
 - ◆テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの電波発する通信機器、蛍光灯などの照明器具の近く
 - ◆金属面(床や壁)に接して設置した場合
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。このような場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。

各部の名称

[スヌーズ/ライトボタン]

本体正面

- 電波状況表示：電波受信のとき、設置場所の電波状況を表示します。
- 電波周波数表示：電波受信のとき、探している周波数を表示します。(40kHz、または60kHz)
- 受信マーク：受信の結果を表示します。
- 環境マーク：温度と湿度の数値から、現在の環境状態を[▶]で示します。【快適/インフルエンザ/熱中症/乾燥】
- アラームマーク：アラームがONのとき、表示します。
- スヌーズマーク：スヌーズ機能の[入/切]状態を表示します。
- 時刻表示：時/分/秒を表示します。
- カレンダー表示：月/日/曜日を表示します。※アラームがONのとき、アラーム時刻を表示します。
- 温度表示：本体内蔵のセンサーにより温度を表示します。
- 湿度表示：本体内蔵のセンサーにより湿度を表示します。

[アラームスイッチ] アラームのON/OFFに使用します。
[受信ボタン] 手動受信と受信中止するときに使用します。
[▼ボタン] 設定操作中に1回押すごとに項目を減算します。
[▲ボタン] 設定操作中に1回押すごとに項目を加算します。
[設定ボタン] アラーム時刻設定と手動時刻設定に使用します。

本体裏面

- 電池ホルダ：※電池を入れるときは一側から入れて下さい。※電池をはずすときは+側からはずして下さい。
- ▲**注意** 種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や時計の故障の原因となります。
- 電池フタ

時計の使い方(お使い始め)

- 自動設定 (電波受信による時刻・日付設定方法)**
- 液晶表示の保護シートを剥がして下さい。
 - 電池フタを開けて単3形乾電池2個を+の表示に合わせて入れ、電池フタを閉じて下さい。液晶面が表示され「ピッ」と確認音が鳴り、電波の受信を開始します。
 - ※受信中は受信マークが点滅します。
 - ※受信中に電波状況表示を確認し、本取扱説明書の「使用場所について」を参照して、電波を受信しやすい場所に本体を設置して下さい。
 - ※受信には最長4分かかります。
 - 受信の結果を確認して下さい。本取扱説明書の「受信の状態について」を参照して下さい。
 - 受信に成功すると、受信マークが点灯して自動的に時刻と日付を修正して表示します。
 - 受信に失敗すると、受信マークは消灯します。時刻・日付は修正されません。
- 電波受信ができなかった場合は・・・**
- 一昼夜そのままにして様子を見て下さい。夜間は比較的電波受信の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。初期受信に失敗しても、定期的に自動で受信をしますので、本取扱説明書の「リセット操作について」を参照して、午後8時以降を目安にリセット操作を行い、夜半を経過して様子を見て下さい。
 - 設置場所を変えて、手動受信をして下さい。本取扱説明書の「手動受信について」を参照して、本体の向きや置き場所を変えて、手動受信をして下さい。
 - 手動による時刻・日付設定をして下さい。本取扱説明書の「手動設定」を参照して、時刻・日付を手動で合わせて下さい。
 - ※手動で時刻を合わせた場合も、定期的に自動受信を開始して、受信に成功すると、自動で時刻を修正します。

受信の状態について(受信マークの表示例)

- 受信中(電波を探している状態)です。
- 点滅中 60kHzの電波受信中 40kHzの電波受信中

電波状況チェック機能について

- 受信中の設置場所の電波状況を表示します。

電波状況が 良い環境 電波状況が悪く 受信できない環境

- 点灯 ■受信に成功して時刻/日付修正を終了しています。*次の受信開始まで点灯し続けます。
- 消灯 ■受信に失敗して終了しています。*次の受信開始(点滅)まで、表示されません。

自動受信について

自動受信は1日に最多3回(午前2～4時の毎正時)行われます。午前2時の受信に成功すると、次の日の午前2時まで受信はしません。午前2時の受信に失敗すると午前3時に、受信に成功するまで3回受信を繰り返します。※初期受信(電池をセットして最初の電波受信)に失敗した場合は、3時間毎に再度自動受信モードに入ります。自動受信は受信に成功するまで最多7回(電池を入れてから24時間以内)繰り返します。

手動受信について

電波受信が終了(受信マークが点灯、または消灯)しているとき、受信ボタンを2秒以上押すと電波受信を開始します。※電波受信中に受信ボタンを2回押すと電波受信を終了します。

手動設定 (手動による時刻・日付設定方法)

注意 設定中の点滅は約1分以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。

- アラームスイッチをOFFにします。
- 設定ボタンを2秒以上押し続けると時刻設定モードに入ります。画面右下に年(西暦)が表示し点滅します。
- ▲ボタン/▼ボタンを押して年(西暦)を設定します。
- 設定ボタンを押すごとに[年(西暦)]→[月]→[日]→[時]→[分]→[秒]→[12/24時間表示]が点滅します。▲ボタン/▼ボタンを押してそれぞれを設定します。

12:00:00 年(西暦)の設定 → 12:00:00 月の設定 → 12:00:00 日の設定

12:30:00 時の設定 → 12:00:30 分の設定 → 12:00:00 秒の設定

12:4 12/24時間表示の設定

- ※[秒]は▲ボタン/▼ボタンを押すごとに00秒に設定されます。
- ※[年・月・日]を合わせたあとに[曜日]は正しく表示されません。

- [12/24時間表示]の設定が終了したら設定ボタンを押して下さい。点滅が終了し、設定された時刻と日付が表示されて、手動による時刻・日付設定が完了します。

エアーサーチ機能について

温度と湿度の数値から、現在の環境状態を[▶]で示します。【快適/インフルエンザ/熱中症/乾燥】

- ※温度と湿度の数値によっては、何も表示しない場合があります。
- ※環境マークは、あくまで空調や体調管理の目安です。表示により発生する有無を判断するものではありません。公的機関から発表される「注意」「警報」などは一致しない場合があります。
- ※本製品はインフルエンザ・熱中症を完全に防止できる製品ではありません。
- ※本製品は、商取引や証明には使用できません。また、医療及び業務用製品ではありません。

リセット操作について

電池を電池ホルダからはずした直後は、静電気や内部に残っている電流により、誤動作(誤表示)する場合があります。電池を入れる前に、スヌーズ/ライトボタンを数回押し、表示面に何も表示されていないことを確認してから、新しい電池を入れて下さい。